

第 1 調査の概要

第1章 調査の目的等

1 調査の目的

東京都内に居住する身体障害者、知的障害者及び精神障害者並びに難病患者の生活実態を把握することにより、東京都における障害者施策の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象

18歳以上の身体障害者4,000人、知的障害者1,200人、精神障害者1,200人（※）及び難病患者1,200人

※精神障害者について、前回（平成30年度調査）までは800人を調査の対象としていた。

3 標本の抽出

調査対象者の抽出は、東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳、精神障害者保健福祉手帳発行台帳及び東京都難病医療費等助成制度（下記「4 調査の基準日」時点での助成対象は346疾病の認定者情報から、調査に必要な客体数が確保できる規模の抽出率を乗じ、無作為系統抽出した。なお、身体障害者のうち、八王子市（中核市）分については、八王子市が保有する身体障害者手帳交付台帳から無作為系統抽出した。

（1）身体障害者：抽出率0.9%で4,000人（障害種別を8層に分けて系統抽出）

（2）知的障害者：抽出率1.4%で1,200人

（3）精神障害者：抽出率0.8%で1,200人

（4）難病患者：抽出率1.1%で1,200人

※抽出率については、P.7を参照。

4 調査の基準日

令和5年10月11日（調査期間 令和5年10月11日から同年11月10日まで）

5 調査の事項

（1）基本的属性

（2）障害、難病の状況

（3）健康・医療

（4）日常生活の状況

（5）就労の状況

（6）経済基盤

（7）社会参加等

（8）情報の入手やコミュニケーションの手段

（9）障害者総合支援法による障害福祉サービス等

（10）施設入所（施設入所者対象）

（11）その他の福祉サービス等

（12）災害関係

6 調査の方法

(1) 事前調査

東京都から調査対象者に対し、郵送により所在確認並びに調査協力の可否、及び希望される調査方法（「郵送調査」又は「調査員による面接聞き取り調査」）についての調査を行った。調査への協力が可能な方には、併せて調査実施に当たり、必要な配慮の有無についても確認した。

(2) 本調査

郵送・インターネットによる自計式を原則とし、調査対象者から希望があった場合のみ調査員の面接聞き取りによる他計式とした。また、本人回答を原則としたが、回答が困難な場合は、家族等の代理回答も可とした。

なお、上記(1)事前調査により、調査対象者から希望があった場合には、点字・音声コード付・拡大文字調査票の送付や手話通訳者・要約筆記者の派遣を行った。

7 調査の機構

(1) 福祉局長（※令和5年7月から。令和5年6月までは「福祉保健局長」）

管下の職員を指揮監督し、調査の企画、実施及び結果の公表を行う。

(2) 調査員

統計調査員設置要綱に基づき、知事が任命する。

8 根拠規定

(1) 東京都統計調査条例（昭和32年東京都条例第15号）

(2) 東京都統計調査条例施行規則（平成2年東京都規則第213号）

(3) 東京都統計調査条例に基づく都指定統計調査の指定等に関する規則（平成3年東京都規則第25号）

(4) 東京都福祉保健基礎調査要綱（平成3年10月19日）

(5) 統計調査員設置要綱（平成27年3月23日）

9 集計の対象

令和5年5月に、各障害者手帳の台帳並びに東京都難病医療費等助成制度の認定者情報から無作為に抽出した対象者 16,000 人に対し、所在確認及び調査協力の可否についての調査（事前調査）を郵送により実施した。その結果は次のとおりである。

事前調査結果の状況

	事前調査対象者数 (A)	調査不能者数				本調査対象者数 (B)
		転出	拒否	その他		
身体障害者	7,500人	3,500人	1,634人	293人	1,573人	4,000人
知的障害者	2,750人	1,550人	435人	137人	978人	1,200人
精神障害者	2,750人	1,550人	85人	333人	1,132人	1,200人
難病患者	3,000人	1,800人	22人	145人	1,633人	1,200人
合計	16,000人	8,400人	2,176人	908人	5,316人	7,600人

事前調査の結果、調査への協力が可能である旨の回答等を得た 7,600 人に対し、本調査を実施したところ、5,479 人から回答があった。障害別の回答状況は次のとおりである。

本調査回答状況

	本調査対象者数 (B)	回答者数 (C)	調査不能者数 (B-C)				回答率 (B/C)	
			未返送	転出	拒否	その他		
身体障害者	4,000人	2,669人	1,331人	1,258人	6人	19人	48人	66.7%
知的障害者	1,200人	864人	336人	311人	2人	8人	15人	72.0%
精神障害者	1,200人	871人	329人	307人	1人	7人	14人	72.6%
難病患者	1,200人	1,075人	125人	111人	3人	3人	8人	89.6%
合計	7,600人	5,479人	2,121人	1,987人	12人	37人	85人	72.1%

10 報告書の構成

「第2 結果の概要」の「第1章 調査対象者の概要」では、集計対象者 5,479 人についてまとめた。「第2章 身体障害者の状況」では、集計対象者のうち身体障害者手帳を取得している（他の障害者手帳取得者も含む。）2,669 人について、「第3章 知的障害者の状況」では、集計対象者のうち愛の手帳を取得している（他の障害者手帳取得者も含む。）864 人の状況について記述した。「第4章 精神障害者の状況」では、集計対象者のうち精神障害者保健福祉手帳を取得している（他の障害者手帳取得者も含む。）871 人の状況について、「第5章 難病患者の状況」では、集計対象者のうち東京都難病医療費等助成制度（調査基準日現在の助成対象は 346 疾病）の認定者 1,075 人について記述した。「第7章 自由意見」では、各調査票の自由意見欄の記述についてまとめた。「第8章 報告書の上梓に当たって」では、令和5年度東京都福祉保健基礎調査検討会での検討の経緯等を記載した。

11 利用上の注意

- (1) 統計表及びグラフにおける統計数値は、原則として構成比を記載し、構成比の基礎となる総数のみ、実数を併記した。その他、用いた記号は次のとおりである。
 - 「0.0」… 四捨五入により数値を丸めた結果、表示すべき最下位の桁の1に達していない場合の単位未満の数値
 - 「-」… 皆無又は該当数値なし
 - 「…」… 該当数値が不詳又は不明なもの
- (2) 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。
- (3) 統計表の百分率については、少数点以下第2位を四捨五入してあるため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- (4) この報告書では、障害の種類や年齢など、様々な属性により集計・分析をしているが、集計区分によっては母数が少ないため、活用にあたっては注意が必要である。
- (5) 統計表の表側で、「無回答」のデータは全て省略している。また、「その他」等で母数の少ないデータも一部省略している。
- (6) 本文の表中の数値に付けた下線は、記述に関連することを示す。
- (7) 「平成30年度（調査）」とは、「平成30年度 東京都福祉保健基礎調査（障害者の生活実態）」をいう。「平成25年度（調査）」とは、「平成25年度 東京都福祉保健基礎調査（障害者の生活実態）」をいう。
- (8) この調査では、調査票の設計の際に、矢印等を用いて回答の導線をできるだけ分かりやすく記載し、調査対象者が正しく回答できるように努めた。また、インターネット上の回答フォームも、インターネット上で回答の導線を設定するとともに、回答に矛盾があるか等の論理チェックをページ単位で行い、矛盾がある場合はエラーメッセージを表示して修正を促すなど、質問の回答に矛盾が出ないように努めた。調査員による訪問調査においても、調査員から調査対象者に設問を説明の上、聞き取りを行い、正確な調査の実施に努めた。また、基本的には回答していただいた内容を尊重しつつ、明らかな回答の誤りについては、審査及び集計作業の段階で極力排除した。
- (9) 「身体障害者の総数」については、障害種別ごとに設定した異なる抽出率が一律になるような補正処理は行っていないため、身体障害者の総数として結果を見る場合には、障害種別ごとに異なる抽出率によって得られた回答を合計した数値及び割合の結果であることに注意が必要である。

(参考) 抽出率

- 東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳、精神障害者保健福祉手帳行台帳及び東京都難病医療費等助成制度（調査基準日現在の助成対象は 346 疾病）の認定者情報から抽出している。

	母集団の数 (N)	標本数 本調査抽出数 (n)	推定標本誤差 (d)	抽出率 (n/N)
身体障害者総数	462,472	4,000	1.5%	0.009
視覚障害	38,791	560	4.1%	0.014
聴覚・平衡機能	46,062	560	4.1%	0.012
音声・言語・そしゃく機能	7,398	360	5.0%	0.049
肢体不自由	220,869	1,520	2.5%	0.007
内部障害	149,352	1,000	3.1%	0.007
知的障害者	86,528	1,200	2.8%	0.014
精神障害者	151,918	1,200	2.8%	0.008
難病患者	107,214	1,200	2.8%	0.011
合計	808,132	7,600	1.1%	0.009

- 資料は、月報（福祉・衛生行政統計）「令和 5 年 4 月」における 18 歳以上の数（ただし、精神障害者及び難病患者は 18 歳未満も含む。）
- 肢体不自由は、上肢、下肢、体幹及び脳原性運動機能障害を合わせた数
- 推定標本誤差率の求め方（a 信頼度 95%、p 母比率 50%）

$$d = 1.96 \times \sqrt{(N - n) \div (N - 1) \times (0.25 \div n)}$$
- 標本誤差とは、例えば音声・言語・そしゃく機能障害者の標本数 (n)360 人に聞いたある項目（例えば賛否）の調査結果の賛成率が 50%:反対率が 50%だったとする。このときに音声・言語・そしゃく機能障害者の母集団 7,398 人に対する標本数 360 人の調査結果の標本誤差は±5%なので、音声・言語・そしゃく機能障害者の調査結果は賛成も反対も 50%の±5%、つまり 45%～55%の間にあるとみなす。

12 調査項目

本調査は、本報告書の巻末に掲載した4種類の調査票（調査票1「身体障害者用」、調査票2「知的障害者用」、調査票3「精神障害者用」、調査票4「難病患者用」）により実施した。各調査票における設問及び調査項目は次のとおりである。

※以下の設問中で「あなた」とは、「調査対象者（障害者、難病患者）本人」のことを指す。

※〔複〕とあるのは、複数回答を指す。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問	
基本的属性	問1	問1	問1	問1	回答者	この調査に回答される方はどなたですか。	
	問2	問2	問2	問2	性別	あなたの性別を教えてください。	
	問3	問3	問3	問3	年齢	あなたの年齢は何歳ですか(令和5年10月11日現在)。	
	問4	問4	問4	問4	現在の生活の場	あなたの現在の生活の場はどこですか。	
	問4-1	問4-1	/	問4-1	現在入所している施設	あなたが現在入所している施設はどれですか。	
	問4-2	問4-2	問4-1	問4-2	住居の種類	あなたのお住まいの種類は次のどれですか。	
	問4-3	問4-3	問4-2	問4-3	一緒に暮らしている人〔複〕	あなたは現在、誰と一緒に生活していますか。	
	問4-4	問4-4	/	問4-4	主な介護者	あなたを介護する方はいますか。介護する方がいる場合、現在の主な介護者は誰ですか。	
	/	/	問4-3	/	主な支援者	あなたの日常生活において主な支援者は誰ですか。	
	問4-4-1	問4-4-1	/	問4-4-1	主な介護者の年齢	主な介護者の年齢は何歳ですか(令和5年10月11日現在)。	
	/	/	問4-3-1	/	主な支援者の年齢	主な支援者の年齢は何歳ですか(令和5年10月11日現在)。	
	/	/	/	問4-4-2	介護者の状況についての不安〔複〕	介護者の状況について、不安に感じていることはありますか。	
	障害の状況	問5	/	/	/	(1)身体障害者手帳の障害名〔複〕及び(2)障害の程度	(1)あなたの身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。(2)手帳に記載された障害の程度をお答えください。
		/	問5	/	/	愛の手帳の程度	あなたの愛の手帳に記載された障害の程度は何度ですか。
/		/	問5	/	精神障害者保健福祉手帳の等級	あなたの精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度は何級ですか。	
問6		/	/	/	身体障害者手帳の障害の程度(総合等級)	あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度(総合等級)は何級ですか。	
問7		/	/	/	障害者になった時期	あなたが障害者になったのはいつですか。	
問8		/	/	/	主な障害の原因	主な障害についてお聞きします。その障害の原因は何ですか。	
問9		/	/	/	障害の疾病名〔複〕	あなたの障害の疾病名は何ですか。	
問10		/	/	/	身体障害者手帳以外に取得した手帳の種類〔複〕	あなたは身体障害者手帳以外の手帳を持っていますか。	
問10-1		/	/	/	愛の手帳の程度	愛の手帳(療育手帳)の程度は何度ですか。	
/		問6	/	/	愛の手帳以外に取得した手帳の種類	あなたは愛の手帳以外の障害者手帳を持っていますか。	
/		問6-1	/	/	身体障害者手帳の障害の等級	あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度(総合等級)は何級ですか。	
/		/	問6	/	初診時の年齢	あなたが病院、診療所等の医療機関で、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)の診断を受けたときの初診時の年齢はいくつですか。	
/		/	問7	/	診断名〔複〕	あなたの精神疾患にかかわる病気の診断名は何になりますか。	
/		/	問8	/	精神障害者保健福祉手帳以外の手帳の取得〔複〕	あなたは精神障害者保健福祉手帳以外の障害者手帳を持っていますか。	

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
難病の状況				問5	疾病名	あなたの主な難病の疾病名について「別紙東京都難病医療費等助成制度の対象疾患一覧」から1つ選択し、疾病番号又は疾病名を記入してください。
				問6	難病の確定診断を受けた時期	主な難病の確定診断を受けたのはいつですか。
				問6-1	確定診断までにかかった年数	発症から確定診断までにかかった年数はどのくらいですか。
				問6-2	確定診断までに通った医療機関数	確定診断までに通った医療機関の数はどのくらいですか。
				問7	障害者手帳取得の有無〔複〕	あなたは障害者手帳をお持ちですか。
				問7-1	(1)身体障害者手帳の障害名及び(2)障害の程度〔複〕	(1)あなたの身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。(2)手帳に記載された障害の程度をお答えください。
健康・医療	問11	問7			過去1年間の受診の有無	あなたは過去1年間に受診(往診を含む)したことがありますか。
			問9		通院状況	あなたは、令和5年10月11日(調査基準日)現在、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)で通院(往診を含む)していますか。
				問8	通院状況	あなたは、令和5年10月11日(調査基準日)現在、難病にかかわる病気です通院していますか。
		問7-1	問9-1		通院に要する時間	あなたが通院の片道に要する時間はどれくらいですか。
		問7-2	問9-2	問8-1	通院の際の交通手段〔複〕	あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。
		問7-3	問9-3	問8-2	通院に要する交通費	あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。
				問8-3	通院している医療機関	難病にかかわる病気、通院している医療機関はどれですか。
			問10		精神疾患にかかわる病気での入院経験の有無	あなたは、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。
			問10-1		入院回数	これまで、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)で何回入院したことがありますか。
				問9	難病にかかわる病気での入院経験の有無	あなたは、難病にかかわる病気、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。
			問10-2	問9-1	入院期間	令和5年10月11日(調査基準日)現在、入院期間はどれくらいですか。
			問11		過去1年間の精神疾患以外の受診の有無	あなたは過去1年間に精神疾患(てんかんを含む)以外の病気やケガなどで医者にかかったことはありますか。
				問10	使用している医療機器〔複〕	あなたは現在、難病を主な理由として、下記の医療機器(処置を含む)を使用していますか。
				問11	病状を抑える治療薬または治療法	あなたは、難病の病状を抑える治療薬または治療法による治療を受けていますか。
				問12	訪問診療の利用状況	あなたは「訪問診療」を利用していますか。
				問13	訪問看護の利用状況	あなたは「訪問看護」を利用していますか。
	問12	問8	問12	問14	過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複〕	あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。
		問12-1		医療費助成の自己負担額	この1か月の自立支援医療(精神通院医療)の自己負担額は、平均でどれくらいですか。	
問13				必要としている医療的ケア〔複〕	あなたは現在、日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。	

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
日常生活の状況	問14	問9	問13	問15	日常生活動作能力 (一人でできるか)	あなたは次の a から j(h, l) までの動作について、自分一人ですみますか。
	a	a	/	a		食事をとる
	b	b	/	b		家事(調理、洗濯、掃除)をする
	/	/	a	/		食事のしたくや後片付け
	/	/	b	/		掃除、洗濯(干してたたむまでを含む)
	c	c	/	c		トイレを使う
	d	d	/	d		着替えをする
	e	e	/	e		入浴をする
	f	f	/	f		寝返りをする
	g	g	/	g		家の中を移動する
	h	h	/	h		外出する
	/	i	/	/		バス、電車などに乗る
	i	j	c	i		日常の買い物
	/	/	d	/		身だしなみ
	/	k	e	/		銀行などでの預金の出し入れ
	j	l	f	j		薬の管理(決まった時間に飲むなど)
	/	/	g	/		銀行、郵便局等の利用
/	/	h	/	バス、電車等の利用		
問15	/	/	/	外出手段〔複〕	あなたは外出するとき、どのような手段やサービスを使っていますか。	
/	/	問14	/	過去1年間で困ったこと〔複〕	あなたは、過去1年間で何か困ったことはありますか。	
/	/	/	問16	体の変化	難病や薬の副作用により、過去1年の間に体の変化がありましたか。	
就労の状況	問16	問10	問15	問17	収入を伴う仕事の有無	あなたは令和5年10月11日(調査基準日)現在、収入を伴う仕事をしていますか。
	問16-1	問10-1	問15-1	問17-1	働いていない理由〔複〕	現在、企業や公的機関などで働いていない(一般就労していない)理由は何ですか。
	問16-2	問10-2	問15-2	問17-2	過去の一般就労経験の有無	あなたは、過去、企業や公的機関で働いたこと(パート、アルバイト等を含む。)がありますか。
	問16-3	問10-3	問15-3	問17-3	今後の一般就労の意向	今後、企業や公的機関で働きたい(パート、アルバイト等を含む。)と思いますか。
	問16-3-1	問10-3-1	問15-3-1	問17-3-1	一般就労をする上での課題〔複〕	企業や公的機関で働くにあたって、心配なこと(課題)は何ですか。
	問16-4	/	問15-4	問17-4	雇用形態〔複〕	あなたの雇用形態は何ですか
	問16-5	問10-4	問15-5	問17-5	1週間の就労日数	1週間の就労日数は、どのくらいですか。
	問16-6	問10-5	問15-6	問17-6	1週間の労働時間	1週間の労働時間は、どのくらいですか。
	/	問10-6	/	/	職場での立場〔複〕	あなたはどんな立場で仕事をしていますか。
	問16-7	/	問15-7	/	就職したのは障害者になる前か後か	現在の就職先に就職したのは、障害者になる前ですか、それともなった後ですか。
	/	/	/	問17-7	就職したのは難病の確定診断の前か後か	現在の就職先に就職したのは、難病の診断を受ける前ですか、それとも受けた後ですか。
	問16-7-1	問10-6-1	問15-7-1	問17-7-1	就職の支援者〔複〕	どこ(誰)の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。
	問16-8	問10-6-2	問15-8	問17-8	現在の仕事に就いてからの期間	現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。
	問16-9	問10-6-3	問15-9	問17-9	仕事をしていく上で困ること〔複〕	仕事をしていく上で困ることは何ですか。
	問16-10	問10-6-4	問15-10	問17-10	仕事で困ったときの相談相手〔複〕	仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。
	問16-11	問10-6-5	問15-11	問17-11	福祉的就労の経験の有無	これまでに、福祉的就労をしたことがありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
経済基盤	問17	問11	問16	問18	(1)収入の種類〔複〕及び(2)主な収入	(1)令和4年中のあなたご自身の収入の種類をお答えください。(2)また、そのうち主なものの1つをお答えください。
	問17-1	問11-1	問16-1	問18-1	年金・恩給の収入額	令和4年中における年金・恩給の収入額はいくらですか。
	問17-2	問11-2	問16-2	問18-2	手当の収入額	令和4年中における手当の収入額はいくらですか。
	問18	問12	問17	問19	年間収入	あなたの令和4年中の収入額(1年間)はいくらですか。
社会参加等	問19	問13	問18	問20	平日に主に過ごす場所	あなたはこの1年間、平日の日中は主にどこで過ごしましたか。
	問19-1	問13-1	問18-1	問20-1	現在利用している施設の満足度	あなたは、現在利用している施設に満足していますか。
	問20	問14	問19	問21	過去1年間に行った社会活動等〔複〕	あなたはこの1年間、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。
	問21	問15	問20	問22	社会参加する上で妨げになっていること〔複〕	あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。
	問22	問16	問21		障害のためにあきらめたり、妥協したこと〔複〕	あなたは、障害があるためにあきらめたり、妥協せざるを得なかった(自分の思うようにできなかった)ことがありますか。
				問23	難病のためにあきらめたり、妥協したこと〔複〕	あなたは、難病のためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。
情報の入手やコミュニケーションの手段	問23				意思を伝える場合に困ること〔複〕	あなたは、障害あるため、意思を伝える場合に困ることがありますか。
		問17	問22	問24	情報の入手先〔複〕	あなたは日常生活において何(誰)から情報を得ていますか。
				問25	意思を伝える場合に困ること〔複〕	あなたは、難病により意思を伝えるときに困ることや不自由なことはありますか。
		問18	問23		情報入手やコミュニケーションで困ること〔複〕	あなたは日常生活を送るために情報を入手したり、周りの人とコミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
		問19			思いや考えを伝える場合に困ること〔複〕	あなたは障害があるために自分の思いや考えを伝える場合に困ることがありますか。
			問24		自分の要求等を相手に伝達し理解させられるか〔複〕	あなたは自分の要求、意思、考えなどを相手に伝達し、理解させることができますか。(方法は会話に限らず、筆談、手話、あるいはその組み合わせでもよい)
	問24			問26	情報を入手するために、日常生活用具給付等事業で利用している日常生活用具〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションを円滑にするために、日常生活用具給付等事業で利用している用具等がありますか。
	問25				情報の入手方法(視覚障害)〔複〕	あなたは日常生活において何(誰)から情報を得ていますか。
	問26				情報入手やコミュニケーションで困ること(視覚障害)〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
	問27				情報の入手方法(聴覚障害)〔複〕	あなたは、日常生活において、どのような手段でコミュニケーションをとっていますか。
	問27-1				手話通訳の利用の有無(聴覚障害)	あなたは手話通訳を利用したことがありますか。
	問27-1-1				手話通訳で困ったこと(聴覚障害)〔複〕	手話通訳で何か困ったことはありますか。
	問27-1-2				手話通訳を利用しない理由(聴覚障害)〔複〕	手話通訳を利用しない理由はありますか。
	問28				情報入手やコミュニケーションで困ること(聴覚障害)〔複〕	あなたは情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
障害者総合支援法による障害福祉サービス等	問29	問20	問25	問27	障害者総合支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複〕	過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。
	問29-1	問20-1	問25-1	問27-1	利用した居宅介護等サービス〔複〕	あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。
	問29-2	問20-2	問25-2	問27-2	サービスの支給量	あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。
	問29-3	問20-3	問25-3	問27-3	障害福祉サービスの費用負担	あなたの障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。令和5年9月の1か月にあなたが負担した額(食費等実費負担は除く)はいくらですか。
	問30	問21	問26	問28	障害支援区分	あなたの障害支援区分はいくつですか。
				問29	障害者総合支援法による障害福祉サービスの利用予定の有無	今後、あなたは障害者総合支援法による障害福祉サービス利用の予定はありますか。
		問22	問27		日常生活自立支援事業の利用予定の有無	あなたは、日常生活自立支援事業を利用するつもり(予定)がありますか。
		問23	問28		成年後見制度の利用予定の有無	あなたは、成年後見制度を利用するつもり(予定)がありますか。
	問31	問24	問29	問30	介護保険制度利用の有無	あなたは、介護保険制度を利用していますか。
	問31-1	問24-1	問29-1	問30-1	要介護度	あなたの要介護度は何度ですか。
	問31-2	問24-2	問29-2	問30-2	介護保健法におけるサービスの費用負担	あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担する額(食費等実費分は除く)はいくらですか。
	問31-3	問24-3	問29-3	問30-3	介護保険で受けている在宅サービス〔複〕	あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。
	問31-3-1	問24-3-2	問29-3-1	問30-3-1	介護保険のホームヘルプサービスの内容	あなたが受けているサービスの内容は何ですか。
問31-3-2	問24-3-2	問29-3-2	問30-3-2	サービス内容で困っていること〔複〕	サービス内容で困っていることはありますか。	
施設入所(施設入所者対象)	問32	問25			入所を決めた人	あなたの入所を決めた人は誰ですか。
	問32-1	問25-1			入所を決めた理由〔複〕	あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。
	問33	問26			入所年数	あなたは、今の施設に入ってからどれくらい(何年)になりますか。
		問27			入所施設数	あなたが今までに入った施設は、何か所ですか。
	問34	問28			入所施設の満足度	あなたは、今の施設での生活に満足していますか。
その他の福祉サービス等			問30		精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと	精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことはありますか。
	問35	問29	問31	問31	将来暮らしたいところ	あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。
	問36	問30		問32	地域で生活する上で、必要な福祉サービス〔複〕	あなたが身近な地域で生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。
			問32		今後利用したい福祉サービス〔複〕	あなたが今後利用したい福祉サービスは何ですか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	設問要約	設問
関災 係害	問37	問31	問33	問33	災害時に不安を感じる事〔複〕	あなたが、災害時に、不安を感じることは何ですか。
	問38	問32	問34	問34	災害に備えた特別な対策〔複〕	あなたは災害に備えて、難病や障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。
意自 見由					《自由記述》	○家族のこと
						○生きがいのこと(したいこと、ほしいもの、行きたいところなど)
						○生活の中での納得のいかない経験など
						○医療について感じる事
						○災害時、事故発生時など緊急時に困ったこと、不安に思うこと
						○行政(東京都など)に望むこと
○その他(新型コロナウイルス等の感染症の影響など)						

注) 身体・知的・精神・難病それぞれの調査票において、ほぼ同じ内容の設問文及び選択肢で構成されている設問については、本表では便宜上一つにまとめているため、実際の設問とは表現が異なる場合がある。

13 結果の公表

公表している資料は下表のとおり。本報告書は、確定報告の記述編である。

区分	速報	確定報告		
	概要版	概要版	記述編	統計編
内容	単純集計	記述編の概要	分析、グラフ、クロス表	クロス表
時期	令和6年3月	令和6年10月		令和6年12月
方法	プレス発表、 ホームページ掲載	プレス発表、報告書の刊行、ホームページ掲載		

ホームページ掲載場所

東京都ホームページ ⇒ 都の組織 ⇒ 福祉局 福祉の基盤づくり ⇒ 調査・統計
⇒ 東京都福祉保健基礎調査

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/chosa_tokei/zenbun/index.html



第2章 調査実施等の経過

今回の調査の実施に当たっては、令和5年1月、学識経験者、各障害者団体代表者及び都関係各部代表者からなる調査検討会を設置し、調査内容、調査方法等について議論を重ね、調査項目や調査票についての検討を行った。

併せて、同年2月から東京都障害者団体協議会に調査に関する検討経過や調査結果を説明すると共に、障害者団体より意見を聴取した。

調査実施等の経過は以下のとおりである。

令和5年1月	令和5年度東京都福祉保健基礎調査検討会設置
2月15日	令和4年度東京都障害者団体連絡協議会 (調査の実施について説明)
3月23日	令和5年度東京都福祉保健基礎調査 事前検討会開催 (議事：調査概要及び事前調査の説明)
5月中旬	事前調査実施(5月12日～5月29日)
5月30日	令和5年度東京都福祉保健基礎調査 第1回検討会開催 (議事：調査項目及び調査票の検討)
6月29日	令和5年度東京都福祉保健基礎調査 第2回検討会開催 (議事：調査項目及び調査票の検討)
7月31日	令和5年度第1回東京都障害者団体連絡協議会 (調査内容の検討経過等について説明)
10月11日～ 11月10日	本調査実施(令和5年10月11日調査基準日)
令和6年2月13日	令和5年度第2回東京都障害者団体連絡協議会 (調査実施経過について説明)
3月14日	令和5年度東京都福祉保健基礎調査 第3回検討会開催 (議事：調査結果の概要報告)
8月29日	令和5年度東京都福祉保健基礎調査 第4回検討会開催 (議事：調査結果の報告及び分析)

令和5年度 東京都福祉保健基礎調査検討会委員

氏名	役職等	備考
○学識経験者		
松矢 勝宏	東京学芸大学 名誉教授	
小澤 温	筑波大学 人間系教授	
中山 優季	公益財団法人 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット 副参事研究員	
○障害者団体		
池邊 麻由子	一般社団法人 東京都肢体不自由児者父母の会連合会 会長	
市橋 博	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会 会長	
佐々木 桃子	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 理事長	(令和5年5月まで)
立原 麻里子	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 理事長	(令和5年6月から)
宮澤 勇	公益社団法人 東京都身体障害者団体連合会 理事	
越智 大輔	公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟 事務局長	
高橋 博行	公益社団法人 東京都盲人福祉協会 副会長	(令和6年2月まで)
的野 碩郎	公益社団法人 東京都盲人福祉協会 副会長	(令和6年3月から)
響田 英夫	東京都精神保健福祉家族会連合会(東京つくし会) 副会長	
清水 竜	特定非営利活動法人 東京難病団体連絡協議会 副理事長	
恒川 信一	特定非営利活動法人 難病ネットワーク 理事長	
○障害者本人		
横山 直生子		
宮澤 秀一	トライ・ザ・ブルースカイ 代表	
○行政関係者		
東京都 福祉局 障害者施策推進部 企画課長		※
東京都 福祉局 障害者施策推進部 地域生活支援課長		※
東京都 福祉局 障害者施策推進部 施設サービス支援課長		※
東京都 福祉局 障害者施策推進部 精神保健医療課長		※
東京都 保健医療局 保健政策部 疾病対策事業調整担当課長		※
○事務局		
東京都 福祉局 総務部 広報担当課長		※

(敬称略)

注) ※令和5年6月までは「福祉保健局」。

(このページは白紙です)